

『戦後 80 年 釜石と戦災～未来に伝えるために～』の開催について

令和 7 年 8 月 15 日に戦後 80 年を迎えます。戦争体験者はご高齢となっており、戦争の記憶を語り継ぐためにも、世代を越えた取り組みが必要となっていることから、艦砲射撃に関する映画上映会、戦争体験や戦争の記憶を伝える講演会、戦争と平和を考えるパネルディスカッション等を開催します。

(1) 開催日 令和 7 年 8 月 3 日 (日)

(2) 開催場所 釜石市民ホール TETTO ホール A・ホール B

(3) 開催内容

- ①映画上映 10 時 30 分～12 時 00 分 ホール A
映画「廃墟と化した鉄の町 釜石艦砲射撃の記録」
- ②講演会 13 時 00 分～14 時 15 分 ホール A
あいさつ 小野市長
「わたしの戦争時代の思い出」 佐野睦子氏 (戦争体験者)
「戦争の記憶～未来への継承～」小暮聡子氏
(ニューズウィーク日本版 記者/編集者)
- ③パネルディスカッション 14 時 30 分～15 時 30 分 ホール A
・戦争と平和を考えるパネルディスカッション
コーディネーター：柴田渥氏
(郷土資料館運営委員会委員長)
パネラー：佐野睦子氏、小暮聡子氏、颯・2000 代表、
川村吉氏 (甲子中学校教諭)、佐藤凜汰朗氏・
中澤大河氏 (釜石高校)
質問者：平和・防災学習事業参加の中学生による質問
(質問は 2 人程度：出席生徒は客席に 10 人) ほか
- ④パネル展示 10 時 30 分～17 時 00 分 ホール B
「戦後 80 年 釜石と戦災～未来に伝えるために～」パネル展示
○終戦から 80 年を迎えて (釜石市長あいさつ文)、
○釜石と戦争、○艦砲射撃の被害、
○釜石にあった捕虜収容所、○戦争と平和を考える、
○石橋巖氏の絵手紙と紙芝居、○鈴木洋一氏の紙芝居、
○戦争体験者の手記、○SSH 成果 (高校生の成果を展示) ほか